

京丹後市長 中山 泰殿

2013年11月7日

米軍 X バンドレーダー基地反対近畿連絡会共同代表 大湾宗則・服部良一
〒602-8347 京都市上京区四番町 121-5 TEL 075-467-4437

申し入れ書と質問書

今年の2月22日、日米首脳会談で京丹後市・経ヶ岬自衛隊分屯基地内に米軍 X バンドレーダー建設が確認され、現在防衛省は地権者から土地借り上げ交渉をしています。

これまで地元で何度か説明会がありましたが、近畿中部防衛局の回答要旨は、「皆さん心配には及びません。X バンド電磁波は自動車スピード違反のねずみ取りにも使われている安全なもの、米兵はしっかり防衛省として教育します、道路も直しますしお金も落とします」。

防衛省の回答を聞けば聞くほど、沖縄の経験を漏れ聞く地元の人々は、「信用できない、納得できない」という想いを深め、8月7日の宇川小学校での説明会では、180人参加した人々の中から22人の発言がありました。全ても「納得できない、反対だ」の声だったと新聞報道にもでています。こうした地元住民の実情をよく知る貴職が、9月19日の市議会本会議で「受け入れ表明」を行いました。これほど住民無視の暴挙はありません。

X バンドレーダーは、日本を守るものだとの説明ですが、これは嘘です。日本を守るものなら防衛省が建設すべきです。米国の予算で作る X バンドレーダーは米国の国益、直接的にはグアムの米軍基地を防衛するためのものです。米軍基地が経ヶ岬に建設されるなら当然有事の際、「対敵情報収集の目」レーダー基地が仮想敵から最初に攻撃対象となることはイラク戦争の経験に照らしても戦争の常識です。貴職の受け入れ表明は、京丹後市民と京都府民などを仮想敵に差し出したことを意味します。断じて許されるものではありません。

住民の安心・安全、命と暮らしを守るのが貴職の職責であります。

貴職が、安全保障は国の専権事項ということで地方自治体がそれに抵抗できないなどと言うのも戦後日本の歴史的事実に反するものです。貴職も承知のように、第二次大戦直後、朝鮮内戦への米軍介入の際、米軍使用の大阪飛行場は伊丹・池田・豊中市の住民による反対闘争で基地は撤去され、現在伊丹国際空港として使用されています。又、砂川基地拡張や内灘ナイキ射爆場基地建設は地元住民の反対闘争で拡張・計画は阻止されました。そして現在、沖縄県の名護市・辺野古や東村の高江に新たに建設しようとする米軍基地は、沖縄県民の総意で阻止されています。国の安全保障に関わる米軍基地建設も地元住民の同意がなければ実現しない、ということを知るべきです。

こうした歴史的事実から貴職は学び、住民の安心・安全、命と暮らしを守る護民官としての役割こそが望まれています。わずか3~4億円程度の交付金を10年間もらって当座の市財政を潤してもその結果は、麻薬常習者と同じく次の基地交付金を充てにどんどん基地拡張にのめり込むという悪循環への選択を貴職はいま選択しています。

貴職も周知の通り、丹後半島、特に経ヶ岬一帯は、ジオパークに登録、国定公園にも指定され、京都府や国指定の稀少種・絶滅危惧種や穴文殊など自然の宝を育てています。京丹後はこうした自然と人知を尽くして生活している人々のものであります。また、米軍基地と米軍人、軍属は、日本の国内法の域外にあり治外法権です。日米地位協定の抜本的改正なしに住民の安心・安全は守れません。京丹後で暮らす人々の生産と生活を踏みにじて進める米軍基地建設は直ちに撤回すべきである、と申し入れます。

京丹後市長 中山 泰殿

2013年11月7日

米軍 X バンドレーダー基地反対近畿連絡会共同代表 大湾宗則 服部良一
〒602-8347 京都市上京区四番町 121-5 TEL 075-467-4437

裏面「申入書」に添って以下の質問を提出し、11月7日の貴庁訪問時にご回答をお願いします。尚、その席上お答えにならなかった件に関しては二週間後の11月21日までに文書で回答を要請します。

質問状

- ① 防衛省は、「米軍基地建設の用地借り上げも終わっていないのでどんな基地になるかまだ分からないと応えている。
貴職は、(a)Xバンドレーダー米軍基地建設がどのような様態(設計図)と知り得ているか、知り得ている限りで回答をお願いします。
(b)米軍及び技術者・軍属(警備員)の宿舍の建設予定地はどこか。その進捗状況について回答されたい。
- ② 貴職は、9月19日、市議会本会議に於いて「(防衛)大臣から政府としての真摯で責任ある対応の確認を得た」・・・「政府からのご要請を受け止め、必要な協力を行うことと総合的に判断いたしました」と表明されています。
 - (a) 貴職が防衛大臣から得たという「真摯で責任有る対応の確認」とは具体的にいかなる内容か。
 - (b) 貴職は、防衛大臣に日本環境管理基準(JEGS)に基づく環境影響評価を米軍が実施するよう要請したか、又、防衛大臣は貴職に「日本環境管理基準を基に米軍に環境影響評価を実施してもらおう」と確約したのでしょうか。
 - (c) 貴職は9月19日の市議会本会議で「(政府に対して・・・)日米地位協定の真摯・適切で絶えざる改善の努力を真剣にお願いするもの」と表明しているが、この旨、9月10日の防衛相との会談時に要請したか。また、防衛相は、貴職の要請を快諾したのですか。
 - (d) 貴職は、沖縄における事件、事故、騒音などの件で米軍による日米地位協定及び相互確約がことごとく守られていない現実を承知されているか。日米地位協定の件で沖縄県及び沖縄の基地所在市町村の担当部署と情報交換は出来ているのですか。
- ③ 貴職は、米軍基地 Xバンドレーダー受け入れに当たって「日本の防衛、我が国と国民全体の安全と安心に対する我々地域としての貢献のあり方が真剣に問われている、ということはしっかり受け止めながら、同時にその大前提として、自治体として、住民の皆さんのさまざまな安全と安心の確実な確保、これが第一に不可欠であるという立場」を表明されています。
 - (a) 160人と言われる米軍関係者の使用する自動車は何台か、車検は受けさせるのか、全て Y ナンバーか、自動車保険に加入させて事故の際、賠償責任を持たせるのか、処罰はどこがどのように行うのですか。
 - (b) 自動車事故の際、日本(京都府警)の警察官(3名増員と聞くが)は、住民の立場で事故処理を行うのか、当て逃げされたとき、日本の警察は逮捕権を行使できるのですか。
 - (c) 米軍及び軍属による婦女子への性的暴力が起こったとき、日本の警察権は犯人捜査権及び逮捕権を行使できるのか、米軍関係者の公務中及び公務外について回答をお願いします。
 - (d) ②の(a)~(c)の項目について、貴職が表明した「日米地位協定の真摯・適切で絶えざる改善の努力」で「住民の安全・安心・命と暮らし」は自治体として守り得ると考えられているのですか。
- ④ 通常米軍基地建設工事は、建設すべき基地の目的に添った設計図(プラン)があり、建設する基地様態に即して環境影響評価を実施し、地元住民にその環境影響評価の結果を示して人々の「安心・安全」「命と暮らし」を害さないことを証明して合意を取り付ける、というプロセスが用いられるし、用いられるべきと考える。防衛省は、環境影響評価も基地建設の様態・設計図も示さず土地取得に入っているが本末転倒である。貴職は「住民の安心・安全」「命と暮らしを守る」立場から防衛省に電

磁波の自然と人体への影響及び騒音とその対策、水の使用目的とその供給方法及び排水の仕方などによる海水の汚染及び漁業への影響など環境影響評価を求めると思うが如何か。求めないとしたらその理由は何故ですか。

- ⑤ 日本に建設される米軍基地は、米軍作成の「日本環境管理基準」に基づいて事前の環境影響評価が実施されることになっています。これに基づけば、「歴史的・文化的遺産」は、保護されなければならない、又「絶滅危惧種・稀少種」の動植物の棲息も保護の対象になっています。
- (a) 予定地に隣接して1609年・江戸時代初期に建立された(地元で文殊さんと親しまれている)曹洞宗九品寺があり、その寺の真下の断崖にある洞窟と共に「穴文殊」として京都府のレッドデータブックにあり、「山陰海岸ジオパーク」の景勝地でもあります。九品寺の参道に群生する老黒松は「京都の自然200選」にあげられています。これらは日本環境管理基準では守られなければならない対象です。貴職にこの点についての諾否を求めます。
- (b) 又、米軍基地Xバンドレーダー設置予定地近くの経ヶ岬には、絶滅危惧種に登録されている「ハヤブサ」が棲息していることは認められていることです。このハヤブサが棲息する空域に強力な電磁波を照射し続けることは許されません。稀少種・絶滅危惧種の保護のため貴職は防衛省を通して米軍による環境影響評価を厳しく求めるべきと考えますが如何がなされますか。
- ⑥ Xバンドレーダーは、米軍が米国の国益を目的に経ヶ岬に建設するものです。その第一の目的は、仮想敵・朝鮮民主主義共和国からの弾道ミサイルから米軍グアム基地の防衛であることは明らかです。防衛省が言う「レーダーは防衛目的だから大丈夫」というのは詭弁です。このことによって経ヶ岬が仮想敵から攻撃対象となることになるが、貴職は京丹後の住民が標的にされることもやむなし、と考えているのでしょうか。
- ⑦ 京丹後の発展の基礎は、東アジアの軍事的緊張ではなく、東アジアの平和と人的・物的往来の活性化に依存していると考えますが貴職の考えは如何か。
- ⑧ 京丹後の発展の具体化は、1300年の歴史と伝統、自然と住民の英知に支えられていると考えます。京丹後市は自然と歴史、生産と観光によって展望を開くべきと考える。米軍基地は戦争のための訓練場であり、兵站であるという意味から東アジアに軍事的緊張を作り出すだけで人々の暮らしと両立しない。貴職は、戦争のおこぼれで京丹後市の市政運営をめざすのか、それとも豊かな自然と伝統を人知によって織りなす産業によって市政運営されるのか、如何に？
- ⑨ 日米地位協定の改正に踏み込まなければ、住民の「安心・安全」「命と暮らし」は最低限守れない。貴職は他の米軍基地を抱えている市町村と連携して改善の方向を探る、と表明しているが、その言は何事も解決しない、という表明と受け止める。積極的に日米地位協定の抜本改正を沖縄県と連携して図るべきと考えるが如何でしょうか？